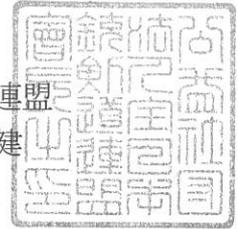


全銃剣連総発第 40 号

平成 29 年 3 月 9 日

スポーツ庁長官
鈴木 大地 殿

公益社団法人 全日本銃剣道連盟
会 長 酒 井 健



中学校学習指導要領案への銃剣道の明記に関する要望について

謹 啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当連盟に対し、格別のご指導とご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、この度、標記につきまして、別紙要望書を提出させていただきますので、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

謹 白

《添付書類》

別 紙 中学校学習指導要領案への銃剣道の明記に関する要望書

平成 29 年 3 月 9 日

中学校学習指導要領案への銃剣道の明記に関する要望書

公益社団法人 全日本銃剣道連盟

今回、中学校学習指導要領案において武道教育の改善が図られ、柔道・剣道・相撲に加え、なぎなた・空手道・弓道・合気道・少林寺拳法が記載されました。しかしながら銃剣道は明記されず、当連盟としては、極めて残念な事態です。

当連盟は、以下の理由により、中学学習指導要領に銃剣道を明記すべきと要望します。

1. 学習指導要領に銃剣道が明記されないことは、銃剣道授業の普及に致命的な影響を与える。

当連盟は、中学校銃剣道授業の実現に向け努力を続け、平成 28 年 1 月に 1 校の実現を見ました。ただ、中学校に対する普及の間、他校において学習指導要領に記載されていないとの理由で採用を断られた経緯があります。今回の中学校学習指導要領に、日本武道協議会加盟の他 8 武道が明記され、銃剣道のみが明記されない事態は、銃剣道は資格がないとの邪推を生み、障害がさらに高くなり、銃剣道授業の普及活動には致命的な事態です。

2. 学習指導要領に銃剣道が明記されないことは、武道の概念に大きな影響を与える。

当連盟は、日本武道協議会に加盟し活動しております。今回、銃剣道が学習指導要領において他 8 武道と同等の扱いを受けられないことは、武道における銃剣道の地位について極めて遺憾な事態であり、一般に認識されている武道の概念に影響を与えるおそれがあると認識します。

3. 学習指導要領への銃剣道の明記は、施策の目的に合致している。

中教審答申の 190 ページには「日本固有の武道の考え方に触れることができるよう、内容等について一層の改善を図る」とあり、脚注には「日本武道協議会加盟団体実施種目」として銃剣道が記載されています。これは、中教審の結論として、授業の対象となる武道種目を広げようとしており、その中に銃剣道が含まれると認識できます。学習指導要領に銃剣道を明記することは、武道の授業を改善する施策の目的に合致した処置であります。

4. 学習指導要領に銃剣道が明記されないことは、文部科学省・スポーツ庁の従来施策との一貫性を欠く。

銃剣道は、従来から、貴省・スポーツ庁の武道振興事業の対象として、他 8 武道と同等に扱われております。学習指導要領においてのみ、銃剣道が違う扱いを受けることは、従来の方針との一貫性を欠いています。学習指導要領についても、従来の方針を踏襲していただきたいと要望します。